

## 『肺線維症急性増悪時における血中 corisin 濃度の検討』研究に関

係する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『肺線維症急性増悪時における血中 corisin 濃度の検討』という研究を行っています。本研究で肺線維症の急性増悪時における全身性の corisin 増加が確認できれば、次のステップとして corisin に拮抗する治療介入を行うことによって予後不良な肺線維症の急性増悪という病態に対して新たな治療介入手段を開発できる可能性があり、未来の治療に対し非常に有益な情報が得られるものと考えます。

〈調査の対象となる患者さま〉 2004年4月から2021年3月末までに当院で、肺線維症と診断し、急性増悪と判断され血液検査が施行された患者様が調査の対象となります。

〈調査方法〉 患者さまの検査時の余剰血液、カルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

〈患者さまのプライバシーに関して〉 プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることはありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者、事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180 国立病院機構近畿中央呼吸器センター  
井上 義一(研究代表者)  
広瀬 雅樹(事務局)

TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372

なおこの研究は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会における審査・承認を受けて実施しています。

(当院ホームページに掲載)